

生活安全だより

夏休み号

発行者 生徒指導主事 上田 亜紀

子どもたちが心待ちにしていた夏休みがやって来ます。長期間の夏休みでは、子どもたちが学校生活を離れ、家庭中心の生活をするようになります。充実した生活を送り、心身ともに大きく成長するよう、計画を立てて有意義に夏休みを過ごせることを願っています。

◇ 公園での遊びについて

「公園の中で自転車に乗っている」「ボールを蹴って遊んでいる」など、周りのことを考えずに遊んでいる子どもたちがいるようです。公園は、みんなの憩いの場です。小さい子どもたちが遊んでいたり、ベンチで休んでいたりと、いろいろな人たちが使っています。みんな気持ちよく過ごせ、他の人に迷惑にならない遊びをするよう学校でも指導しています。ご家庭でも公園での遊び方についてお話していただけると子どもたちもよく考え行動することができると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

◇ 保護者同伴で

特に暑い時期ですので、河川や海などでの遊びが増えてくると思います。行く時には必ず保護者同伴をお願いします。命にかかわることですので、子どもたちだけで行かせないでください。また、花火を楽しむことも多くなると思います。子どもたちだけで花火をするとやけどをしたり、花火が目に入って失明したり、火事の原因にもなったりします。花火をする時は、保護者の方が必ずついて楽しむようにしてください。



◇ 安全について

夏休みは子どもたちだけで過ごす時間が多くなります。学校では、自分の身は自分で守るために、防犯教室などを通して犯罪にあわないための約束ごと「いかのおすし（知らない人についていかない 知らない人の車にのらない 大声を出す すぐ逃げる 何かあったらすぐ知らせる）」を指導しています。ご家庭でも今一度、確認をしてください。



◇ その他

※「お子さんの持ち物」等におやっと首をかしげる変化はありませんか？

お子さまが買い与えていない物を持っているというようなことはありませんか。「買った覚えがないものがある」このような時には見逃さず、どのようにして手に入れたのか聞いてみてください。お子さまの持ち物に関心を持ち、わが子がどんなものを持っているのか把握していただきたいと思います。

